



五色塚古墳と舞子公園

担当：Aグループ 海シリーズ

1. 日時: 2022年5月5日(木) 10時30分～14時45分
2. 集合: JR神戸線「垂水」駅西口 10時30分
3. 参加者: 16名
4. 行程: 垂水駅(10:30)⇒海(わたつみ)神社⇒石造宝篋印塔(せきぎょういんとう)・(遊女塚)
⇒五色塚古墳⇒舞子公園(昼食・孫文記念館(移情閣)・付近散策)
⇒明石藩舞子台場(砲台)跡⇒舞子駅・解散(14:45)

【五色塚古墳】

好天に恵まれ、気持ちよく垂水・舞子の町散策が出来た。

五色塚古墳では、学芸員の方から五色塚古墳についての説明をして頂いた。淡路島を望む台地の上に築かれた前方後円墳の全長は194mで、兵庫県で一番大きな古墳である。斜面には223万個の葺石が敷き詰められ、平坦面には円筒埴輪が2200本立て並べられていることから、この古墳づくりに注がれた膨大な労力が想像できる。

どんな人物が葬られているのか、聞くことが出来ると思っていたが、埋葬施設の調査はされていないため、人物の特定はできないとの事であった。

色々な事実から、4世紀の終わりごろこの古墳に葬られた人は、明石海峡と、淡路島等を支配した豪族であろうとの話であった。いろいろと、思いをめぐらせるのも楽しいものである。

【舞子公園・孫文記念館】

海辺の公園で昼食。(ゴールデンウィーク中の為、色々な催し物等があり、賑わっていた)

その後、明石海峡大橋のたもとにある可愛らしい建物(外観が六角に見えることから地元では「舞子の六角堂」として親しまれた)孫文記念館へ行き、孫文に関する展示物を自由に見て回った。歴史の授業には出て、孫文の名前はよく知ってはいたが、このような沢山の資料に触れ、少し身近に感じる事が出来た。

